

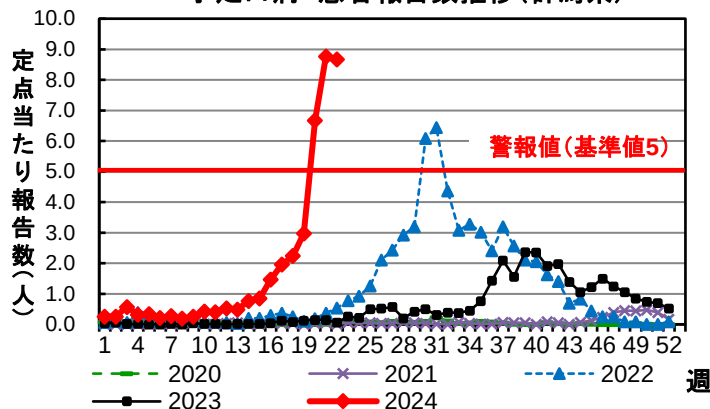
子どもの夏かぜに注意！



◆ 夏かぜとは？…夏に子どもを中心に患者数が増える感染症の総称です。
例年5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎えます。

- 手足口病：口の中や手足などに水疱性の発しんが出る。発熱しても高熱は続かない。大人が感染すると痛みが強くなることが多い。
- 咽頭結膜熱：高熱（38～39℃）・咽頭炎・結膜炎などが主症状。高熱は比較的長く続くことがある。
- ヘルパンギーナ：突然の高熱（38～40℃）と咽頭痛が主症状。口の中に水疱ができ、痛みで食欲不振になることがある。

手足口病 患者報告数推移(群馬県)

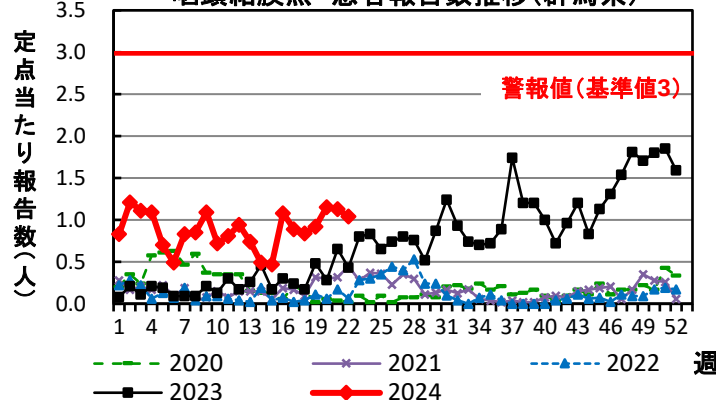


◆ 県内の現在の流行状況

手足口病の患者数の増加が例年より早く、全国平均よりも報告数が多くなっています。県内では警報発令中です。

咽頭結膜熱についても、一部の地域では警報値を超えています。

咽頭結膜熱 患者報告数推移(群馬県)



◆ 感染経路・予防法

〔感染経路〕

- くしゃみなどの際に出る飛沫による飛沫感染
- 水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手を介して、口や眼に入る経口感染・接触感染

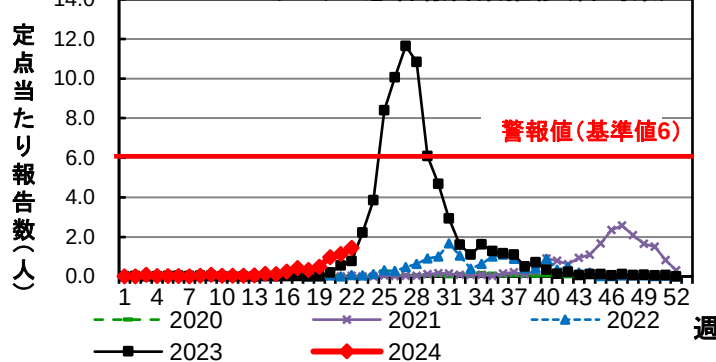
〔予防法〕

- 原因ウイルスはアルコール消毒が効きにくい。ため、手指は、石けんと流水でよく洗う。
特にトイレやおむつ交換の後には、しっかり手洗いをする。
- タオルの共用はしない。症状がある人は自宅でもタオルなどを共用しない。
- 咳エチケットを守り、症状がある場合はマスクをつける。

症状があるときには？

- 医療機関を受診し医師の指示に従ってください。
- 水分と十分な休養を取りましょう。

ヘルパンギーナ 患者報告数推移(群馬県)



★ 感染症の詳しい情報(群馬県感染症情報)

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

